

書評

医療者のためのExcel入門 超・基礎から医療データ分析まで 第2版

田久浩志(著)

B5版・184頁
定価：本体2,400円+税
医学書院刊，2020年

「こんな便利な機能があった」 Excelをマスターするための必携書

【評者】濱岸利夫 中部学院大学看護リハビリテーション学部理学療法学科

「医療者のためのExcel入門」とタイトルにあり、サブタイトルには「超・基礎から医療データ分析まで」とある。そのため、「Step1 Excelに慣れよう 基本操作編」から始まる。

読者が少しでもパソコンやExcelの操作に慣れていれば、Step1には見向きもしないで他のステップへ進んでしまうかもしれない。

しかし、私はStep1から目を通すことをぜひともおすすめする。具体的には、私たちがエクセルの操作時に「間違えやすい文字(表1-2)」が列挙しており、「編集操作でよく使うショートカット(表1-3)」も表にまとめている。

Step1を読んで理解すれば、データ入力時あるいは分析時、セルに数値を入力したはずが思ったように計算できないことにイラついたり、大量のデータ処理時に煩わしさを感じたりすることを避けられるかもしれない。

そして、第1版からある「データ入力が楽になる裏ワザ」(p37～p44)は必見である。今回、私も

じっくりと目を通してみると、例えば、**[Ctrl]+[;]**(セミicolon)で、「現在の日付を入力します」とあるので、実際に入力してみると日付が表示されるので驚いた。

同様に、**[Ctrl]+[:]**(コロン)で、「時刻が入力される」ことを確認し、こちらも時刻が表示できた。これだけでずいぶんと得をした気持ちになる。このようにキーボード操作で得られる「お得感」も随所にある。

さらにStep2は、読者が練習用データ(医学書院Webサイトから入手可能)を使いながら情報処理を練習できるようになっており、テキストを読み進めながら一人でも学習する工夫がされている。

またStep3は、グラフの作成について記載されており、WordやPowerPointへの貼り付け方の形式も詳しく解説されている。一読すれば、グラフをうまく貼り付けることができる。

本書のなかで、私が最もおすすめしたい内容はStep4「ピボットテーブルを使ってみよう 集計とグラフ応用編」である。ぜひとも熟読

していただきたい。

そこには「ピボットテーブル」というキーワードがあり、耳慣れない方がいるかもしれない。ただ、一度使い始めると、その便利さを実感できる。特にExcelシートのデータからクロス集計表を作成する作業のうえではマスターしておきたい。

「データから一瞬でクロス集計表を作成するテクニックね…」とご存知の読者もいるかもしれないが、もし、初めて聞く読者であれば、ぜひとも試してみることをおすすめする。もちろん、ピボットテーブルからすぐにグラフも作成することができ、その操作についても詳しく記述されている。

私も著者から教わったとき、最初は驚いた。それ以降、何度もクロス集計表やグラフ作成に役立っている。「Excelには、こんな便利な機能があったのだ…」と当時の記憶が今でも残っている。

初心者だけではなく、Excelを使い慣れたベテランにもぜひおすすめしたい。

